

コロナ禍におけるスクールの オンライン授業に関する調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>

目 次

1. 調査概要	3
2. まとめ	5
3. 本調査結果のポイント	6
4. アンケート調査結果	9
5. 調査データ ～スクールジャンル別クロス表～	32

1. 調査概要

調査概要

調査目的	: コロナ禍における学校のオンライン授業の実施状況と課題を調査する
調査期間	: 2022年1月7日(金)~1月12日(水)
調査方法	: Webアンケート方式
調査地区	: 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・愛知県・大阪府・京都府・兵庫県
調査対象	: 資格・語学・IT・クリエイティブスクールの経営者、教員・講師、運営担当者
有効回答	: 100

調査項目

1. オンライン授業の実施状況
2. オンライン授業の導入時期
3. オンライン授業の適用範囲
4. オンライン授業の形式
5. 導入したシステム・サービス
6. オンライン授業で使用している教材
7. オンライン授業の効果
8. コロナ禍におけるスクール運営・顧客ニーズの変化
9. オンライン授業で大変だったこと
10. オンライン授業に求める機能・サービス
11. 今後の取り組み
12. オンライン授業の導入を考えていない理由
13. スクール運営上の課題

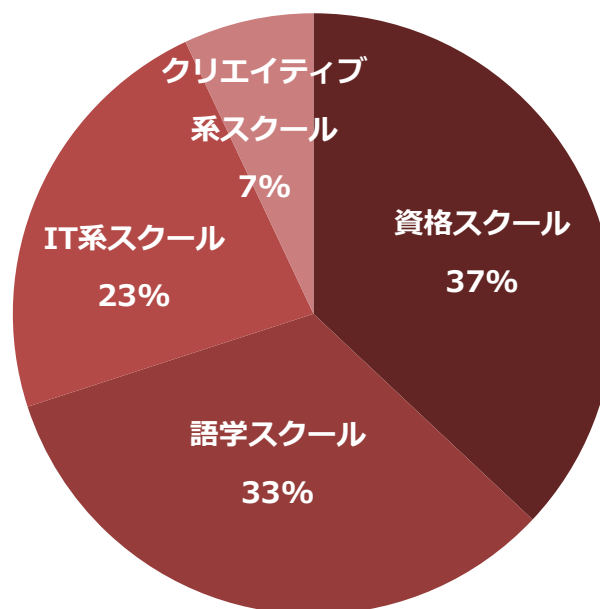
回答者属性

年代別内訳 : 20代9%、30代16%、40代30%、50代34%、60代11%

地域内訳 : 関東69%、中部9%、近畿22%

スクールジャンル内訳 : 資格スクール37%、語学スクール33%、IT系スクール(PC・Webデザイン・プログラミング等)23%、クリエイティブ系スクール(ネイル・メイク・フラワーデザイン等)7%

総受講者数内訳 : 50名以下 22%、51~100名 23%、101~500名 26%、501~1000名 12%、1001名以上 17%



2. まとめ

eラーニング戦略研究所は2022年1月、関東・中部・近畿地方都市部の各種スクールの経営者らを対象に、オンライン授業（Web講座）の実施状況に関する調査を実施しました。

その結果、オンライン授業を実施しているスクールは81%に上ることが明らかとなりました。内訳は「以前から導入している」39%、「コロナ感染拡大を機に導入した」42%で、コロナ禍に講座のオンライン化が急速に進んだ様子が読み取れます。このうち資格スクールでは「すべてのコースをオンライン化」、語学スクールでは「一部のコースをオンライン化」が多いといった具合に、スクールのジャンルによってオンライン授業の適用範囲に異なる傾向がみられましたが、いずれのケースでもZoomなどを利用したライブ配信授業が多く提供されているようです。

オンライン授業の導入はスクールにどのような効果やメリットをもたらしたのでしょうか。アンケートの結果、「コロナ禍でもスクール事業を継続できた」「受講者が自宅で授業を受けられる環境を提供できた」といった成果を実感した人は実に97.5%に上りました。コロナ禍におけるスクール運営や顧客ニーズの変化を尋ねた質問でも、「オンラインを希望する人が増えた」「オンライン化で新規顧客獲得ができた」「収益が伸びた」といった回答が多く挙げられており、コロナ禍に直面を避け自宅で安心安全に受講したいという消費者ニーズの高まりにすばやく対応したことが、安定的な事業継続や新規顧客獲得につながった様子がうかがえます。一方で、オンライン授業を導入していないスクールでは「新規入学者が減少した」「規模を縮小した」という厳しい意見もみられました。

今後の取り組みについて、より高品質で効果的なオンライン授業の拡充を目指す人が約半数に達することが明らかとなった今回のアンケート。ただし、実際にオンライン授業を実施した教育現場からは「通信や音声トラブル」「細かい指導が難しい・コミュニケーションがとりにくい」「受講生の反応・理解度がわかりにくい」「慣れない操作」といったさまざまな問題が聞こえてきます。見えてきた課題をクリアし、負担を軽減しながら、より高品質なオンライン講座をいかに運営・提供していくのか、今後の動向が注目されます。

3. 本調査結果のポイント

■ オンライン授業の実施率81%。

ライブ授業配信・オンデマンド映像授業が主流、コロナ禍を機に急速に導入が進む。

アンケート調査の結果、オンライン授業を実施しているスクールは81%に上がることがわかった。内訳は「以前から導入している」39%、「コロナ感染拡大を機に導入」42%で、コロナ禍に講座のオンライン化が急速に進んだ様子が読み取れる。とくに語学・IT・クリエイティブ系のスクールでは、コロナ以降のオンライン授業導入率がそれ以前を上回った。

詳しくみると、オンライン授業の適用範囲はスクールのジャンルによってやや異なっている。たとえば、資格スクールでは「すべてのコースをオンライン化」しているところが多く、オンラインのみで全コースを修了可能な学校が全体の過半数を占めている。一方、語学スクールでは「一部のコースをオンライン化」、クリエイティブスクールでは「スポット活用（基本は対面授業で欠席時や試験対策などに補助的にオンライン授業を活用）」が最多となっている。

提供されているオンライン授業の形式はスクールの種類に関わらず「ライブ配信型の映像授業」74.1%が突出している。ZoomなどのWeb会議ツールの導入も79%に達しており、いわゆるライブ授業といわれる形式がスタンダード化した印象だ。次いで「録画配信型の映像授業(オンデマンド)」46.9%、「オンラインでの講師によるマンツーマン指導」40.7%も多く、学習管理システム（LMS）の導入も45.7%に上っている。

なお、オンライン授業で使用されている教材はオリジナルのものがほとんどで、その多くがスクールで内製されていることがわかった。汎用教材を使用しているケースは少なく、個々のスクールの教育内容に合った教材が使用されているようだ。

■ 97.5%がオンライン授業に“成果あり”、オンライン導入・未導入で明暗か。 「コロナ禍にスクール事業を継続できた」ほか「新規顧客獲得」「収益増加」のケースも。

アンケートの結果、オンライン授業を実施しているスクールのうち97.5%が何らかの効果やメリットがあったと回答した。もっとも多かったのは「コロナ禍でもスクール事業を継続できた」71.6%。そのほか「受講者が自宅で授業を受けられる環境を提供できた」「解約者減少／解約を最小限に抑えることができた」「より多くの受講者への一斉指導が可能となった」「新しい受講者の獲得につながった」などとなっている。

コロナ禍におけるスクール運営や顧客ニーズの変化を尋ねた質問でも、「オンラインを希望する人が増えた」「新規顧客獲得ができた」「収益が伸びた」といった回答が多く挙げられている。その一方で、「新規入学者が減少した」「規模を縮小した」「経営が厳しくなった」という正反対の意見も見られ、こうした意見の約半数がオンライン授業を導入していないスクールであることがわかった。

このことから、コロナ禍において、なるべく対面を避け自宅で安心安全に受講したいという消費者ニーズの高まりにすばやく対応したことが、安定的な事業継続や新規顧客獲得につながった様子が見える。反対に、教育のオンライン化への対応に遅れを取ったスクールでは、受講者減少や経営の伸び悩みといった厳しい状況に直面しているところが少なくないようだ。同様に、オンライン授業を導入していないスクールでは、導入済みのスクールに比べ「受講継続促進」や「新規事業や新しいビジネスモデルの実現」に課題を抱えている割合が高いことも明らかとなっている。

ちなみに、オンライン授業未導入のスクールにその理由を尋ねたところ、「授業内容がオンラインに適さない」「オンライン授業のニーズがない」「オンライン授業に必要な設備環境が整っていない」などとなった。「授業内容がオンラインに適さない」「オンライン授業のニーズがない」は語学スクールに多くみられた。

■ 目指すは“高品質なオンライン授業の拡充”。

キーワードは「双方向」「オンラインに最適化されたプログラム」「安定的な通信環境」

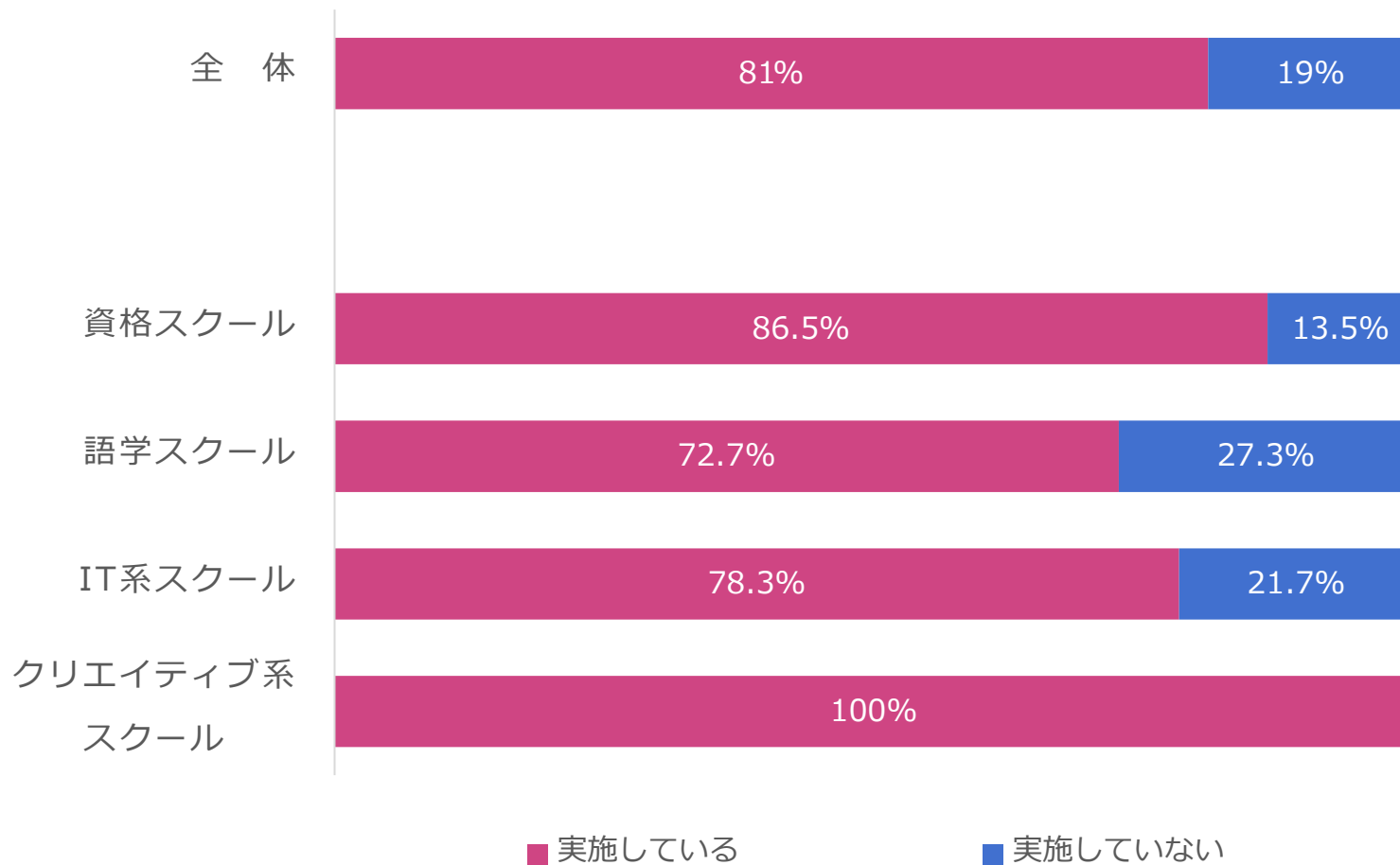
今後の取り組みについては、高品質で効果的なオンライン授業の拡充を目指す人が約半数に達することが明らかとなった。内訳は「オンラインに力を入れて遠方の顧客も取り込みたい」「オンラインを強化していきたい」といった意見のほか、「双方向のオンライン授業を円滑に運営」「オンラインで行って効果がある内容と対面の方が効果的な内容をデータをもとに分析、今後のプログラム構成に生かしたい」「オンラインと通学のハイブリッドで学習者のニーズに応じていきたい」など。なおこの数は「オンライン授業をやめたい」の12%を大きく上回る結果となっている。

今後の課題は何か。実際にオンライン授業を実施した教育現場からは「通信や音声トラブル」「細かい指導が難しい・コミュニケーションがとりにくい」「受講生の反応・理解度がわかりにくい」「慣れない操作」といった問題が多く報告されている。また、今後求める機能について「授業映像の作成・配信が簡単にできる」「ライブ配信した映像をオンデマンドして再配信できる」などがポイントを集めていることから教材作成や動画配信についての負荷が大きいこともうかがえる。

こうした課題をクリアし、負荷を軽減しながら、より高品質なオンライン講座をいかに運営・提供していくのか、ポストコロナ時代のスクール事業の在り方が問われている。

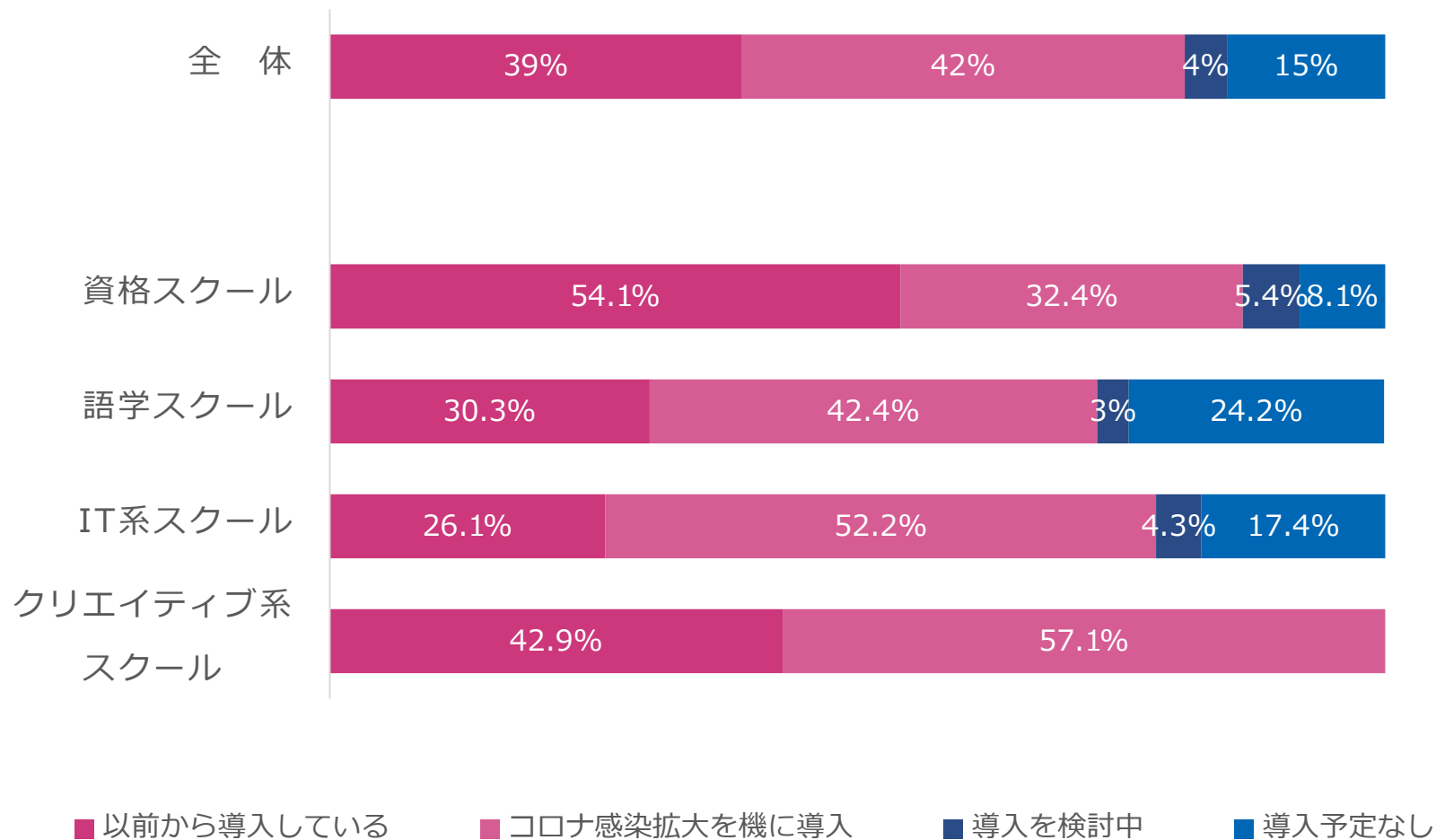
4. アンケート調査結果

1. オンライン授業の実施状況



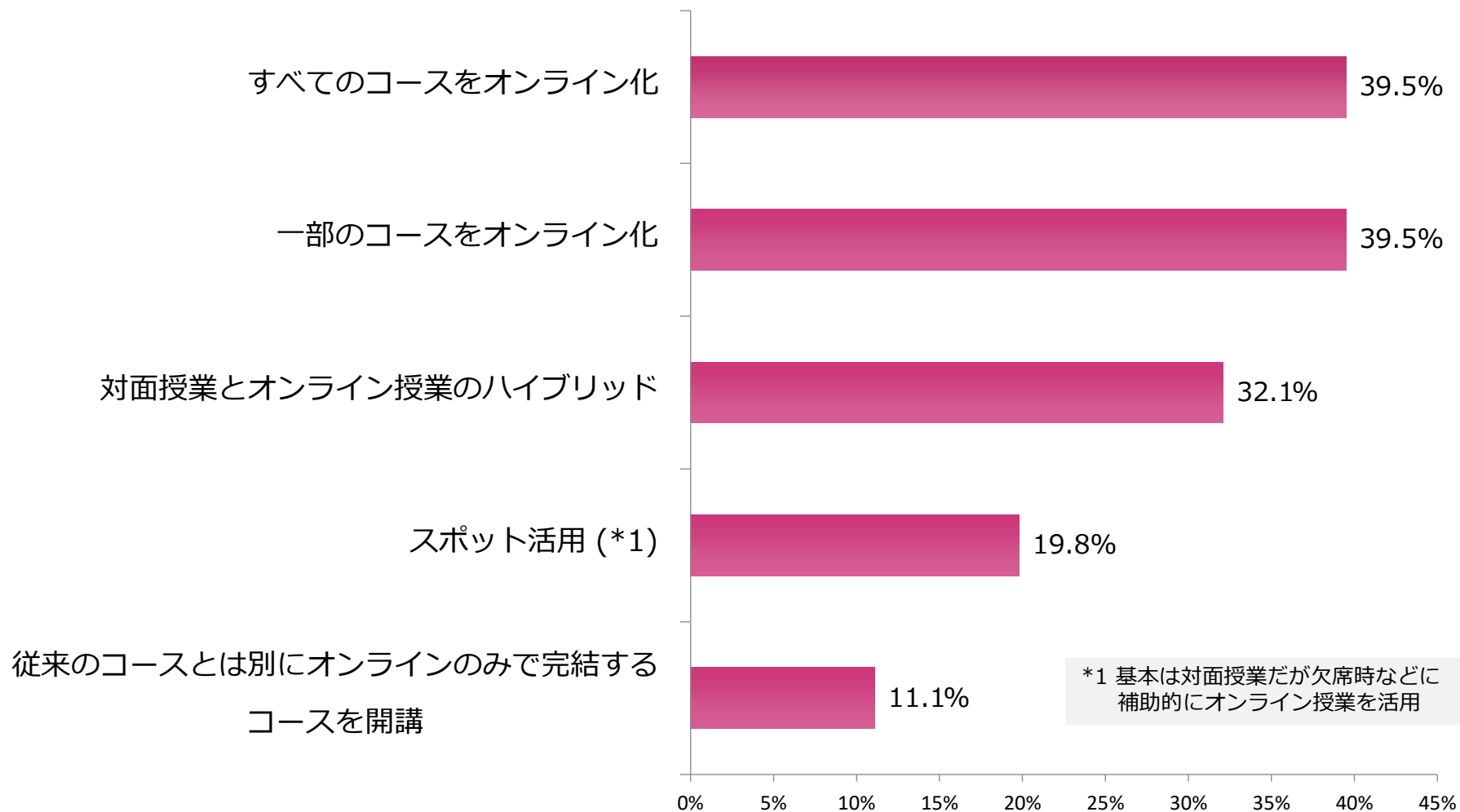
Q: あなたの所属するスクールではオンライン授業やオンラインレッスン (eラーニング) を実施していますか。 (n=100)

2. オンライン授業の導入時期



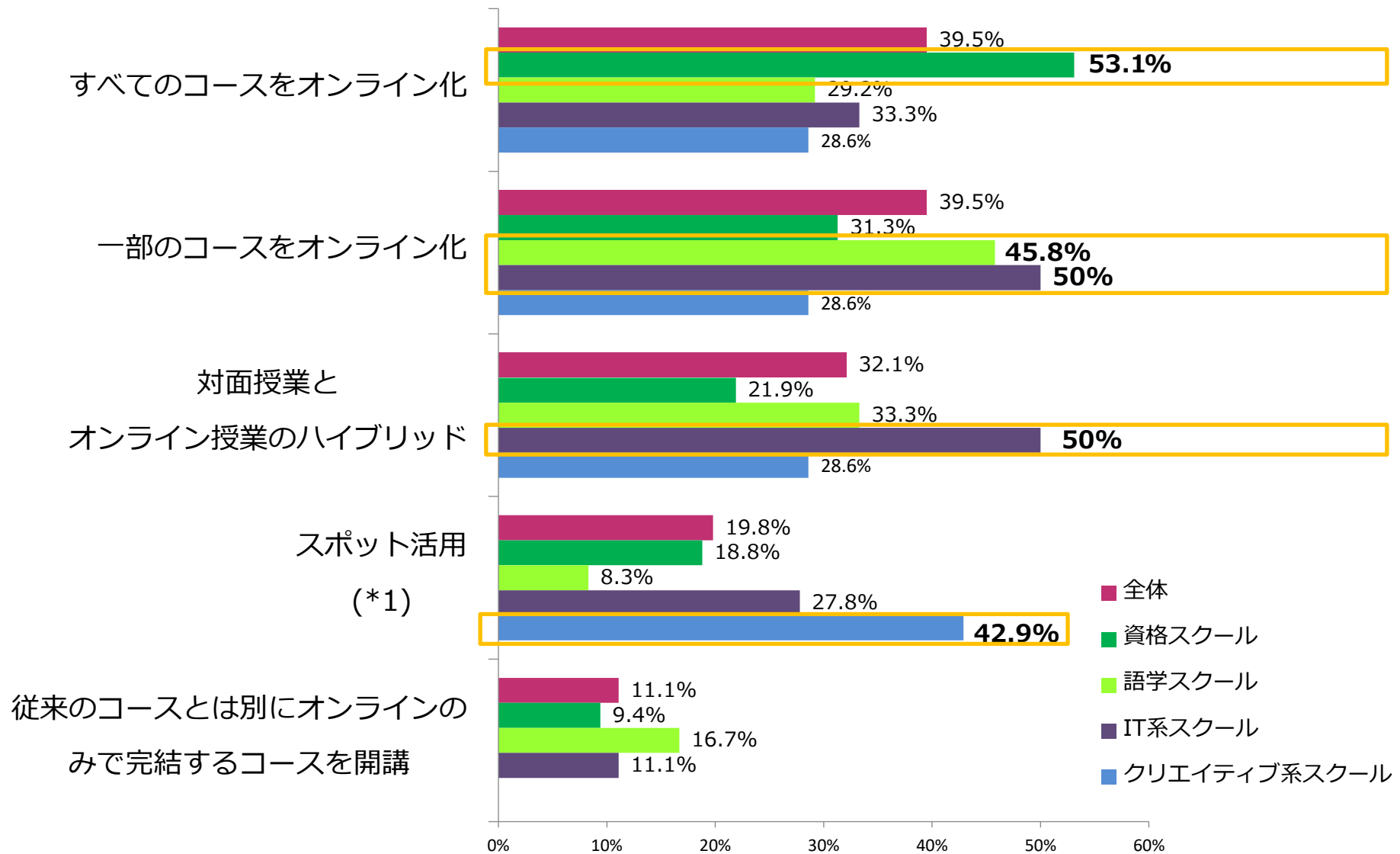
Q：オンライン授業の導入時期や導入検討状況について教えてください。(n=100)

3. オンライン授業の適用範囲



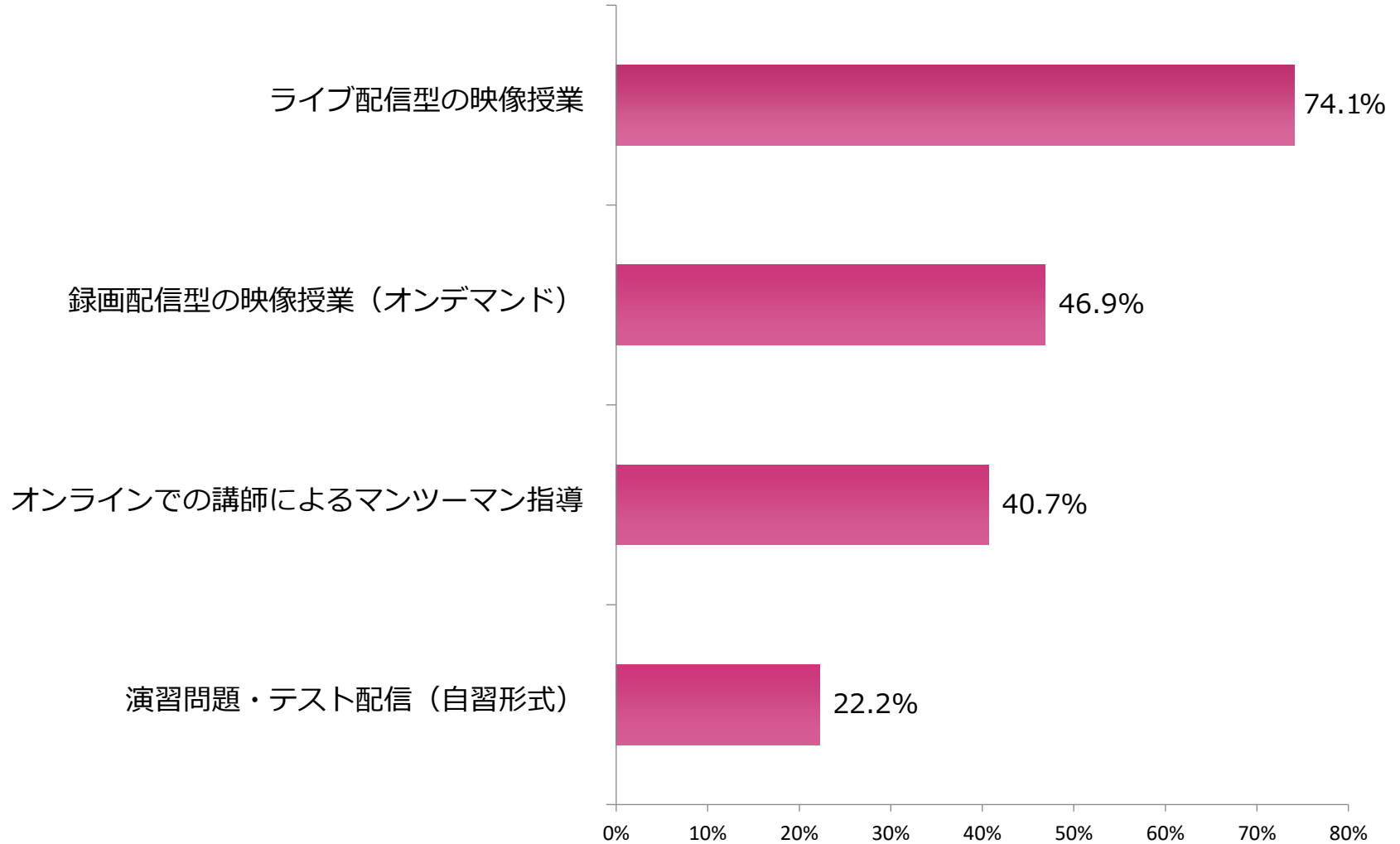
Q: オンライン授業を実施している方にお聞きます。どのような形でオンライン授業を提供していますか。当てはまるものをすべてお答えください。(n=81)

3-1. オンライン授業の適用範囲 × スクールのジャンル



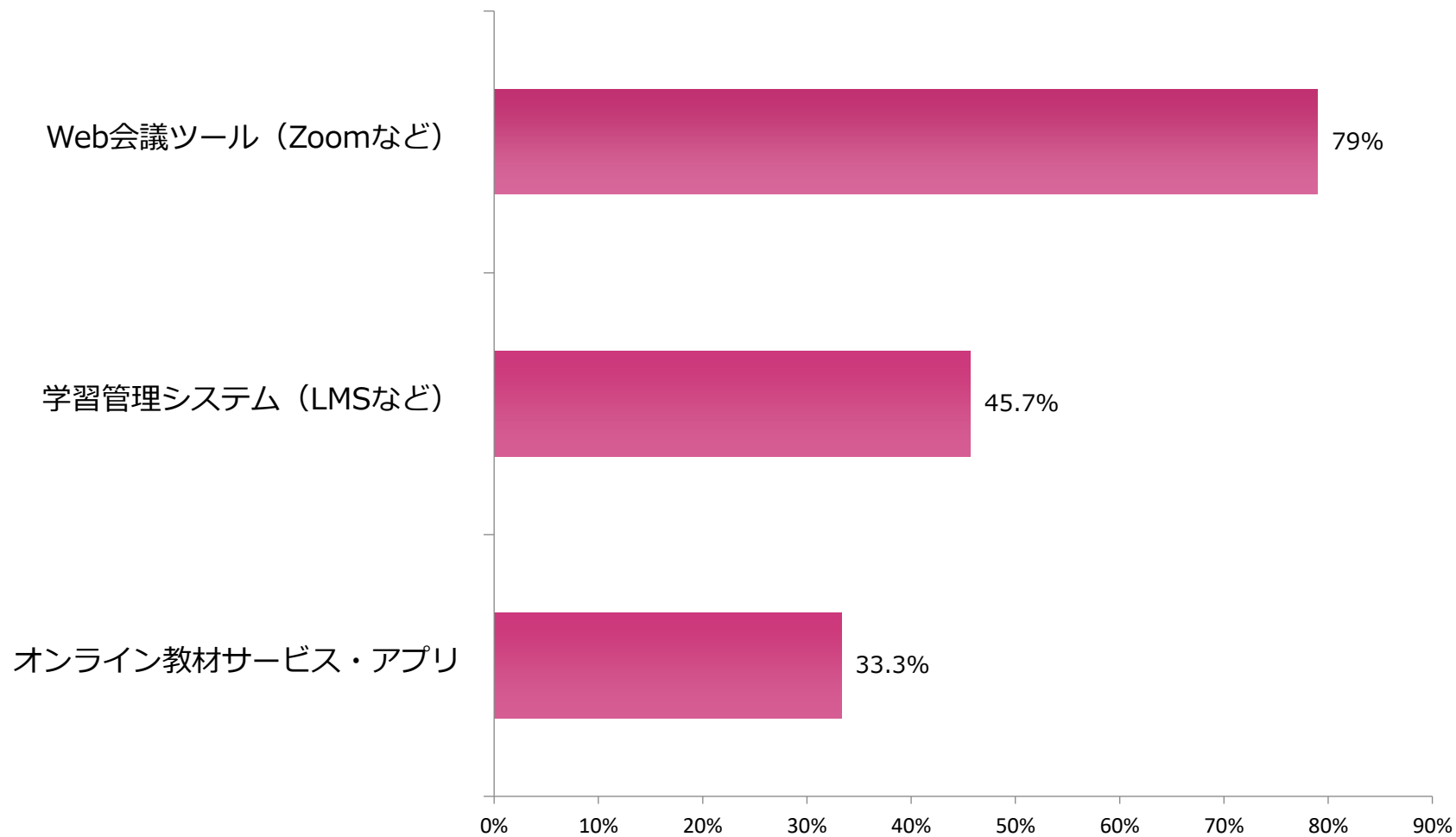
Q: オンライン授業を実施している方にお聞きます。どのような形でオンライン授業を提供していますか。当てはまるものをすべてお答えください。(n=81)

4. オンライン授業の形式



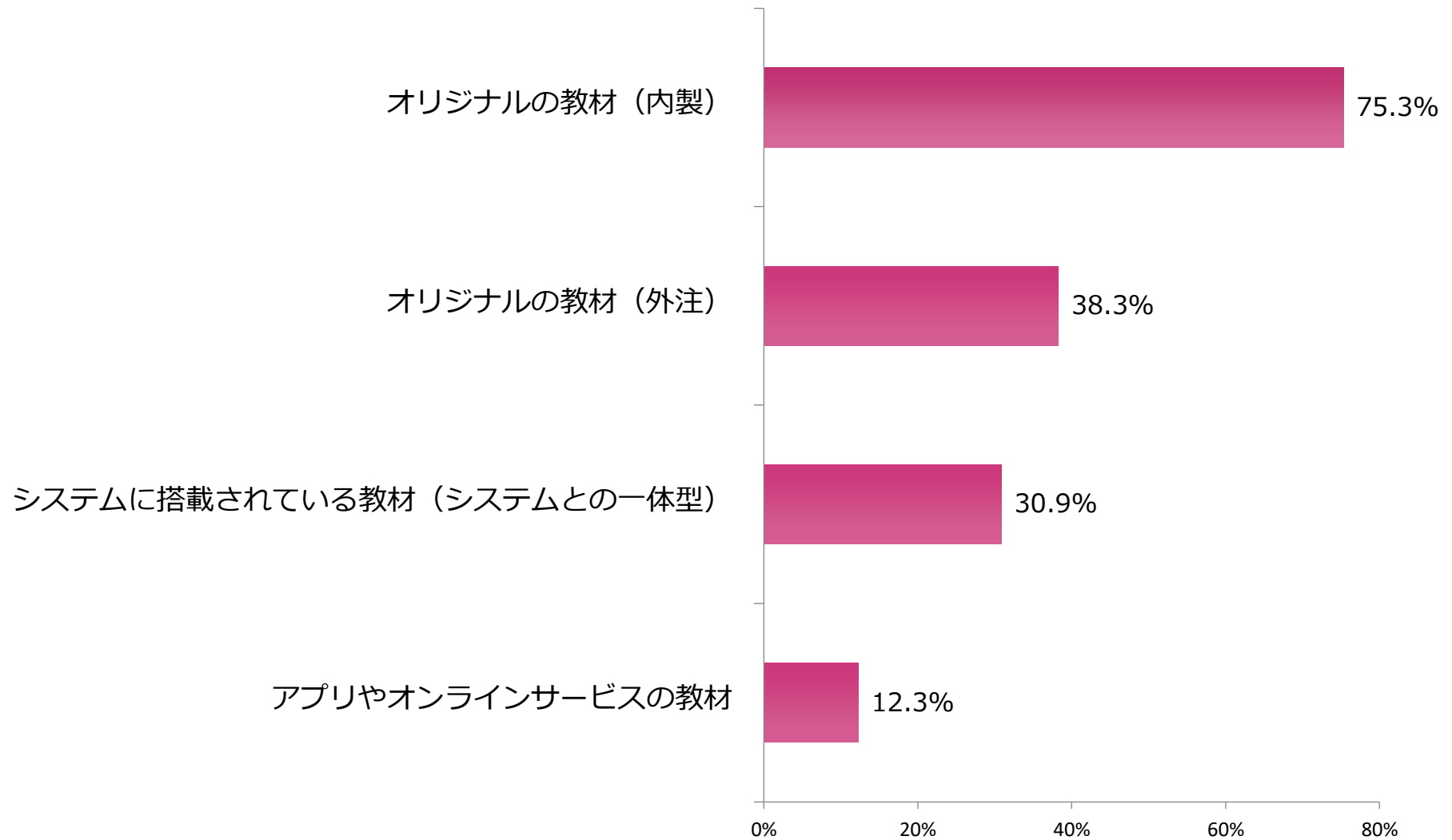
Q：提供しているオンライン授業の形式はどのようなものですか。当てはまるものをすべてお答えください。（n=81）

5. 導入したシステム・サービス



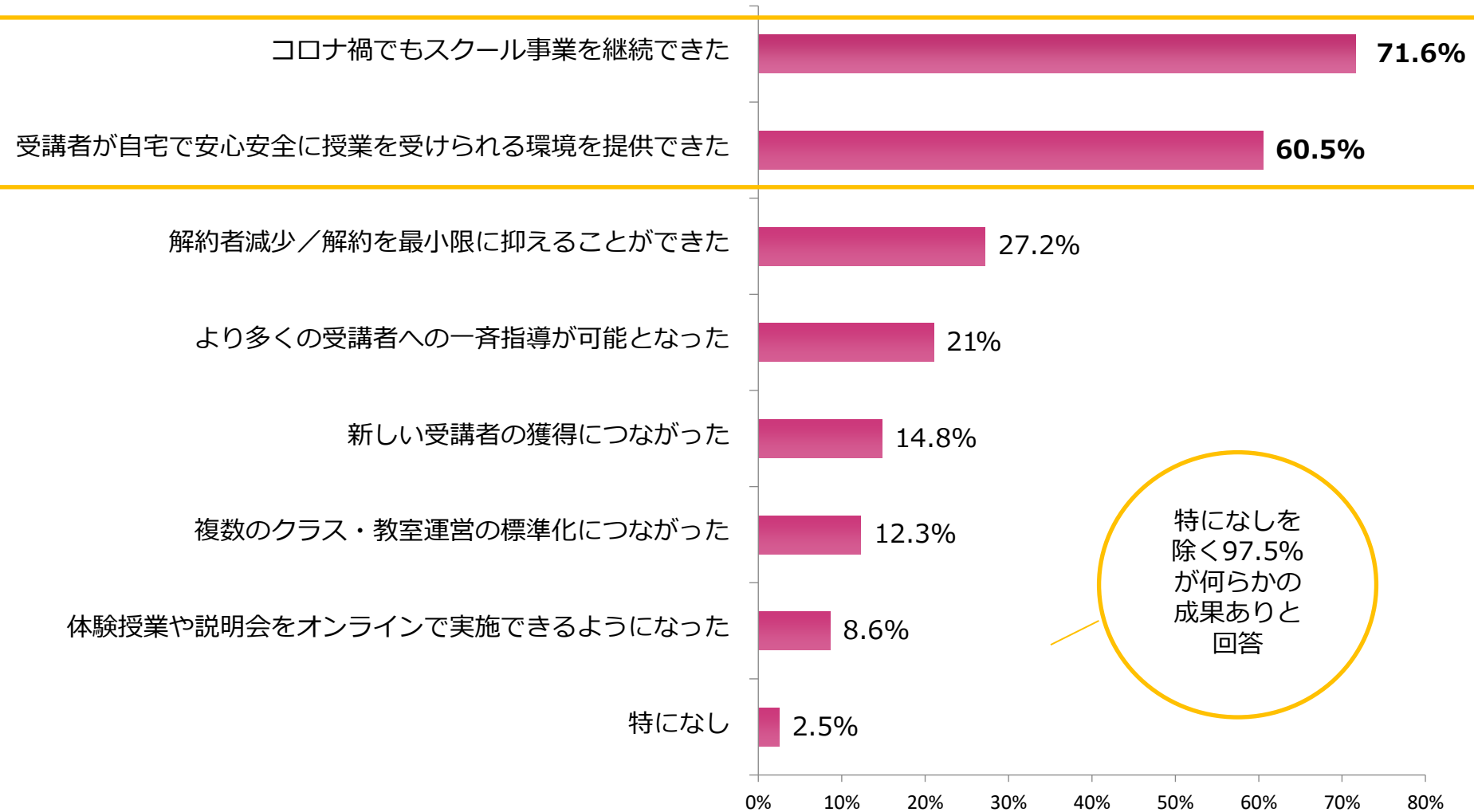
Q: オンライン授業を提供するために導入されたシステムやサービスはありますか。当てはまるものをすべてお答えください。(n=81)

6. オンライン授業で使用している教材



Q：オンライン授業で使用している教材の作成元はどれに該当しますか。当てはまるものをすべてお答えください。（n=81）

7. オンライン授業の効果



Q：オンライン授業にはどんな効果やメリットがありましたか。当てはまるものをすべてお答えください。（n=81）

8. コロナ禍におけるスクール運営・顧客ニーズの変化

▼オンライン希望者・受講者の増加（21%）

コロナ禍におけるスクール運営や顧客ニーズの変化	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
オンライン希望者が増えた	資格スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
オンラインの良さを知ってもらえた	資格スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
オンライン希望者の増加	資格スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
オンラインとオフラインのハイブリッド化	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
人数が増えた	語学スクール	50名以下	以前から導入している
オンラインを希望する人が増えた	語学スクール	51～100名	以前から導入している
オンラインでの学習希望が高まりました	語学スクール	501名～1000名	以前から導入している
収益が伸びた	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
顧客が増えた	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
オンラインを前面に押し出した	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
オンライン需要の高まり	IT系スクール	101～500名	以前から導入している
実習も仮想化でオンラインでできるように要望がある	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
新規顧客獲得ができた	IT系スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
遠方からの問い合わせが少しありました。	別IT行イブ系スクール	50名以下	以前から導入している
web講義の需要が高まった	別IT行イブ系スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入

Q：新型コロナウイルスの感染拡大を機にスクール運営や顧客ニーズに変化はありましたか。（n=100）

8. コロナ禍におけるスクール運営・顧客ニーズの変化

▼受講者減少（16%）

コロナ禍におけるスクール運営や顧客ニーズの変化	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
学費が払えなくなり、やめる人が増えた	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
大幅減	資格スクール	51～100名	導入を検討中
希望者が減った	資格スクール	101～500名	導入予定なし
新しい顧客が入会しないこと	語学スクール	50名以下	導入予定なし
海外に行けなくなり外国語の学習意欲がなくなった学生が増えやめる人が多くなった	語学スクール	50名以下	導入予定なし
学生が減った。	語学スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
生徒の減少	語学スクール	50名以下	導入を検討中
初期に、新規生徒が入らなかった	語学スクール	101～500名	導入予定なし
新規入学者数が減少した	語学スクール	1001名以上	導入予定なし
経営が厳しくなった	語学スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
利用する人が減ったこと	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
規模を縮小した	IT系スクール	501名～1000名	導入予定なし

▼感染対策の必要性（4%）

コロナ禍におけるスクール運営や顧客ニーズの変化	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
感染対策	資格スクール	51～100名	以前から導入している
安全を最優先しなければならなくなった 手洗い、消毒、換気、オンライン授業などを実施していても不安があると言われる	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
具体的な安心安全の対策の必要度が上がった。	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入

Q：新型コロナウイルスの感染拡大を機にスクール運営や顧客ニーズに変化はありましたか。（n=100）

8. コロナ禍におけるスクール運営・顧客ニーズの変化

▼その他（8%）

コロナ禍におけるスクール運営や顧客ニーズの変化	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
コロナ禍を利用として在宅学習にて課題をやらせて一斉授業を減らしている。運営的には学生の激減により教員の需要が減っている。今後クビになる教員が激増しそう。	資格スクール	1001名以上	導入を検討中
経営側ではないので、わかりません。	語学スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
多様化した	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
あった	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
働き方が大幅に変わった。残業が少なくなった。	クリエイティブ系スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入

▼特になし（51%）

Q：新型コロナウイルスの感染拡大を機にスクール運営や顧客ニーズに変化はありましたか。（n=100）

9. オンライン授業で大変だったこと

▼通信・音声トラブル（26%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
通信が不安定だったこと	資格スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
オンライン環境が整っていないと快適に受けることができない	資格スクール	101～500名	以前から導入している
通信が途切れることがある	資格スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
たまにくるタイムラグ	語学スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
通信が不安定でフリーズしたりする事	語学スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
相互の音声確保	語学スクール	1001名以上	以前から導入している
繋がらない	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
システムが不安定になることがある	IT系スクール	101～500名	以前から導入している
接続の調整ですね。	IT系スクール	501名～1000名	以前から導入している
音質がよくない事、声と音楽の音量差が大きくて言葉が聞こえにくい事	別カテゴリ系スクール	50名以下	以前から導入している

▼細かい指導が難しい・コミュニケーションがとりにくい（14%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
細かいニュアンスや対面でないとわからないポイントを勉強できない	資格スクール	101～500名	以前から導入している
指導の細やかさ	資格スクール	51～100名	以前から導入している
詳しく説明するのが大変で苦労しました	資格スクール	51～100名	以前から導入している
対面に比べて、集団でのコミュニケーションをとるのに苦労しました	語学スクール	501名～1000名	以前から導入している
手元が見れない	語学スクール	50名以下	以前から導入している
生徒のコントロールがしっかりできない	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
個別に疑問など聞けないところ	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
受講生との空気感がわかりにくい。こちらの熱意が伝わりに行かない	IT系スクール	1001名以上	以前から導入している

Q：実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、苦労したことは何でしたか。（n=81）

9. オンライン授業で大変だったこと

▼受講生の反応・理解度がわかりにくい（10%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
相手の理解度がわかりにくい	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
反応が読みにくい	語学スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
表情	語学スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
多人数での授業では参加者の表情やつぶやきが捉えにくく授業展開が難しい傾向があった。	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
生徒に理解されているのか不安になる講師がおおかった	IT系スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入

▼操作の慣れ（9%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
受講者・講師とも操作に不慣れで戸惑いがあった	資格スクール	101～500名	以前から導入している
操作に慣れるまで大変でした。	語学スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
相手の通信環境に対してその扱い方等の説明に時間がかかる。こちらもそのプロではないし。。	語学スクール	50名以下	以前から導入している
練習が必要	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
生徒に使い方を指導すること。	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入

Q：実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、苦労したことは何でしたか。（n=81）

9. オンライン授業で大変だったこと

▼教材・カリキュラムの準備（6%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
教材準備	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
オンラインに向けたテキストの作成。システムに慣れる。	刈E行イブ系スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
教材の準備	刈E行イブ系スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
オンライン用にカリキュラムを作り直したこと	刈E行イブ系スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入

▼設備導入（6%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
オンラインの機材導入費用が高い	資格スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
機器をそろえること	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
設備	資格スクール	51～100名	以前から導入している
セットアップ	語学スクール	501名～1000名	以前から導入している

▼集中力不足（2%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
集中力	語学スクール	1001名以上	以前から導入している
初めは新鮮だからかちゃんと受講していたが授業に集中しない学生が増えた	語学スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入

Q：実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、苦労したことは何でしたか。（n=81）

9. オンライン授業で大変だったこと

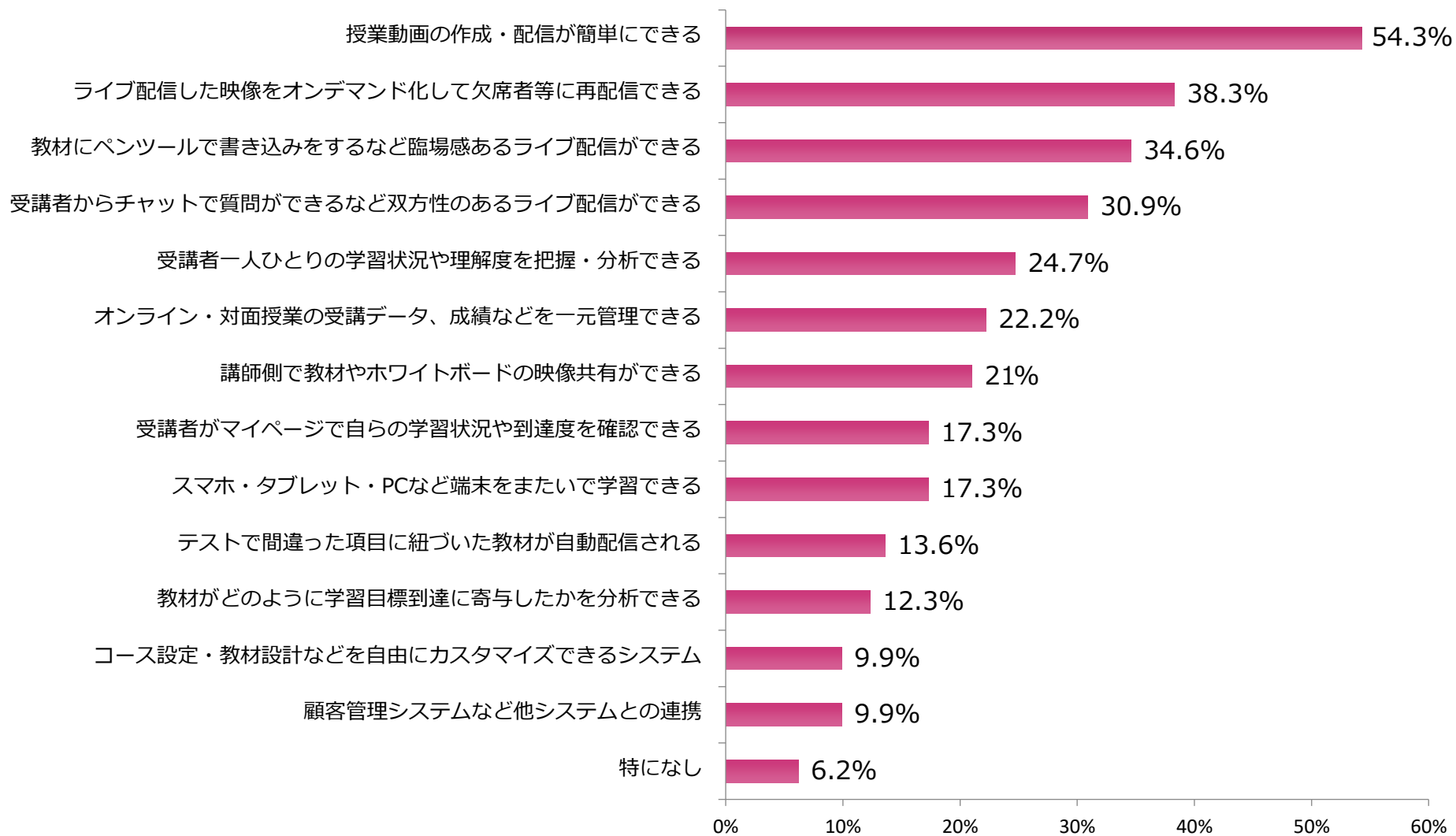
▼その他（7%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
なかなか予定通りにできていない	資格スクール	50名以下	以前から導入している
わかりやすいシステム開発デザイン大変魅力満載便利	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
時間になってもそろわないこと	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
講師は出勤せざるを得なかった	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
セキュリティの確保	IT系スクール	101～500名	以前から導入している
実習中心の科目なので、実習した物の点検が大変だった。	刈Iティブ系スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入

▼特になし（20%）

Q：実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、苦労したことは何でしたか。（n=81）

10. オンライン授業に求める機能・サービス



Q：今後もオンライン授業を提供していく上でどんな機能やサービスがあれば便利だと思いますか。当てはまるものをすべてお答えください。（n=81）

1.1. 今後の取り組み

▼オンライン授業を継続・拡大（24%）

今後の取り組み・ご意見	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
今後も継続	資格スクール	50名以下	以前から導入している
オンラインのほうが安全なので増やしていきたいと思います	資格スクール	51～100名	以前から導入している
引き続き拡大していきたい	資格スクール	101～500名	以前から導入している
今後はオンラインに力を入れて首都圏に住む方だけではなく遠方の顧客も取り込みたい	資格スクール	101～500名	以前から導入している
遠隔地に指導することができるようになる。	資格スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
展開拡大予定	語学スクール	501名～1000名	以前から導入している
新しい学習ツールとしてよいことだと思います	語学スクール	501名～1000名	以前から導入している
今後も続けていきたい	語学スクール	101～500名	以前から導入している
慣れてきたので効率的に出来ると感じています。	IT系スクール	51～100名	以前から導入している
拡大する	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
現状維持	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
オンラインを強化していきたい	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入

▼双方向のわかりやすいオンライン授業（8%）

今後の取り組み・ご意見	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
一方的にならないようにするための取り組み	資格スクール	51～100名	以前から導入している
分かりやすい授業	資格スクール	501名～1000名	以前から導入している
双方向でのオンライン授業を円滑に運営するためのルール作り。	資格スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
モチベーションを上げる	語学スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
分かりやすい画面構成が難しいです。	IT系スクール	501名～1000名	以前から導入している

Q：オンライン授業を導入している方、導入検討中の方にお聞きします。オンライン授業に関するご意見、今後の取り組み予定をお聞かせください。（n=85）

1.1. 今後の取り組み

▼カリキュラム・プログラムの再構築（8%）

今後の取り組み・ご意見	学校の カテゴリ	学校の規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
しっかりとカリキュラムができること	資格スクール	50名以下	以前から導入している
プログラムそのものをリバイスする必要がある。	資格スクール	51～100名	今後の導入を検討中
質の良いものを作りたい	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
オンラインで行って効果がある内容と、対面の方が効果的な内容をデータをもとに精度を上げて分析し、今後のプログラム構成に活かしたい。	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入

▼対面授業とのハイブリッド（4%）

今後の取り組み・ご意見	学校の カテゴリ	学校の規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
今後は対面授業が中心になるが、オンラインも一部利用していきたい	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
今後もオンラインと通学のハイブリッドが続くと思うが学習者のニーズに答えていきたい	語学スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
対面が主流ではあるが、オンラインならではのメリットもあるので、そういった部分は取り入れていきたい	IT系スクール	1001名以上	以前から導入している

▼より良い通信環境・機材の導入（4%）

今後の取り組み・ご意見	学校の カテゴリ	学校の規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
高画質で安定した通信環境で受講したい	資格スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
価格が手ごろで高度な映像配信の出来る機材が普及すると有り難い	刈イイイ [®] 系スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
電波状態の安定を確保する。	刈イイイ [®] 系スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入

Q：オンライン授業を導入している方、導入検討中の方にお聞きします。オンライン授業に関するご意見、今後の取り組み予定をお聞かせください。（n=85）

1.1. 今後の取り組み

▼オンライン授業をやめる（12%）

今後の取り組み・ご意見	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
語学学習などはきちりとした目標・ゴールがある人はまれで多くの人は通うのが楽しい、社交の場という目的が多いのでオンラインは一時しのぎととらえてる場合が多い	語学スクール	50名以下	以前から導入している
出来るのであればオンライン授業を辞めたい 対面のほうが教えやすい	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
コロナ感染終息次第、一切止めたい。	語学スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
できれば辞めたい	語学スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
コロナが落ち着いたらなくしていく	語学スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
もうやりたくない	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
なるべくオンラインはやめる方向	別カテゴリ系スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
通勤、通学時間が無くなり時間の有効活用が出来たが、対面授業の方が理解度がお互いにわかりやすいと思う	別カテゴリ系スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入

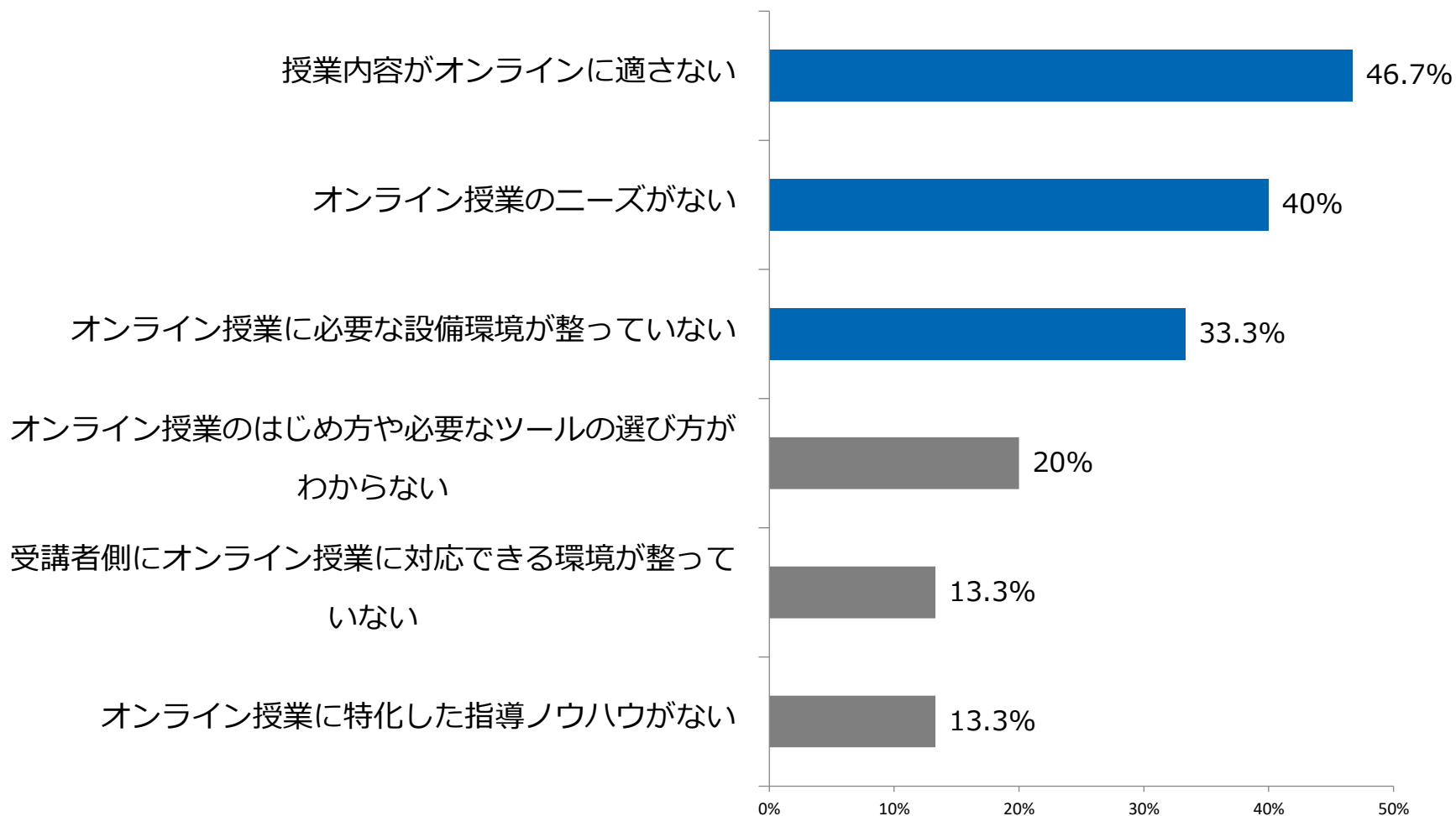
▼その他（7%）

今後の取り組み・ご意見	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
コロナ禍で学生が減るため、コストダウンのために教員も減らしてその穴埋めにオンライン授業を考えているが、動機が不純でありまた無理やり導入しようとしていて教科の内容にマッチしていない。	資格スクール	1001名以上	今後の導入を検討中
負担軽減	語学スクール	50名以下	以前から導入している
練習	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
標準化や競争が激しくなると思われる	IT系スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入

▼特になし（33%）

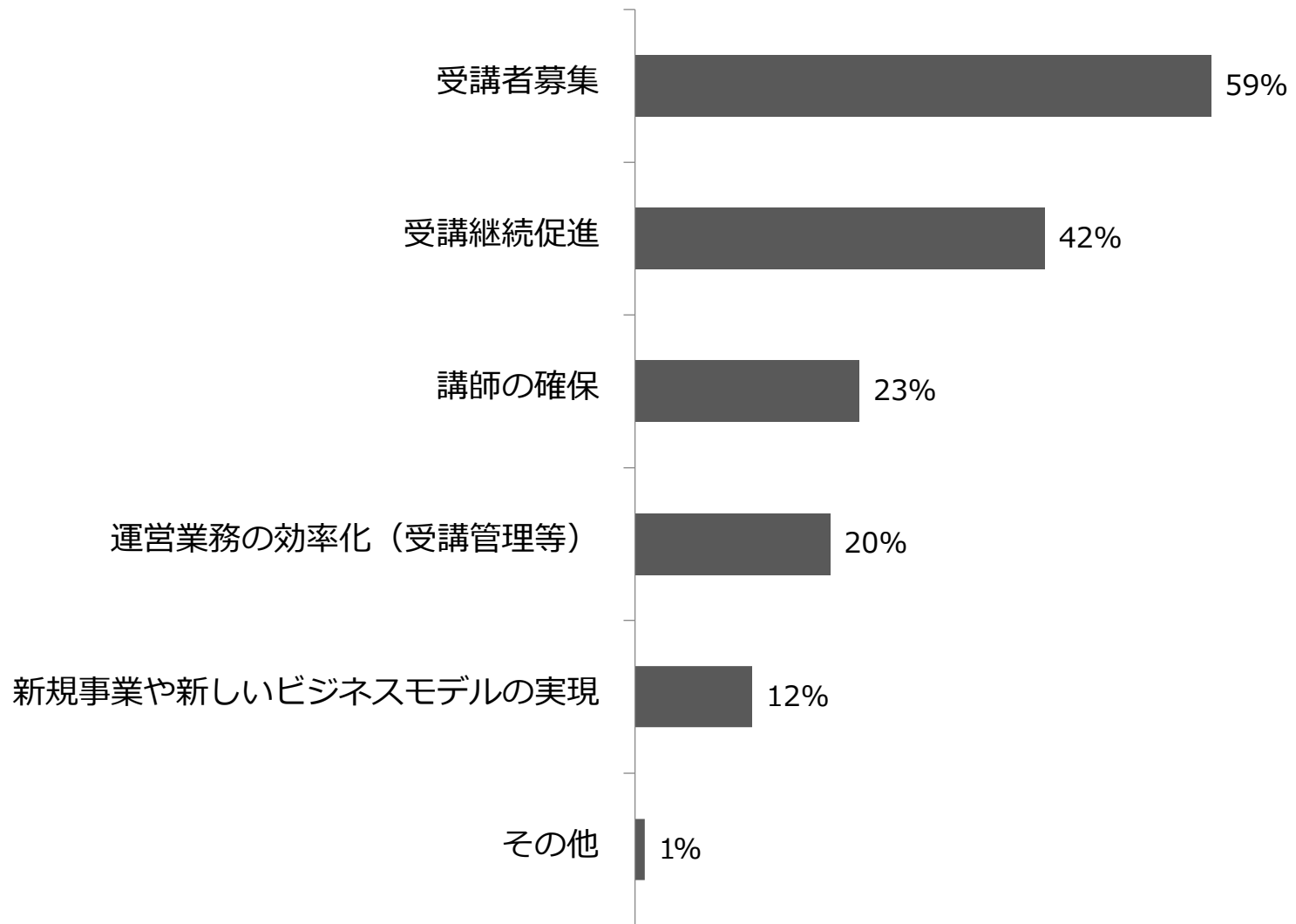
Q：オンライン授業を導入している方、導入検討中の方にお聞きします。オンライン授業に関するご意見、今後の取り組み予定をお聞かせください。（n=85）

1 2. オンライン授業の導入を考えていない理由



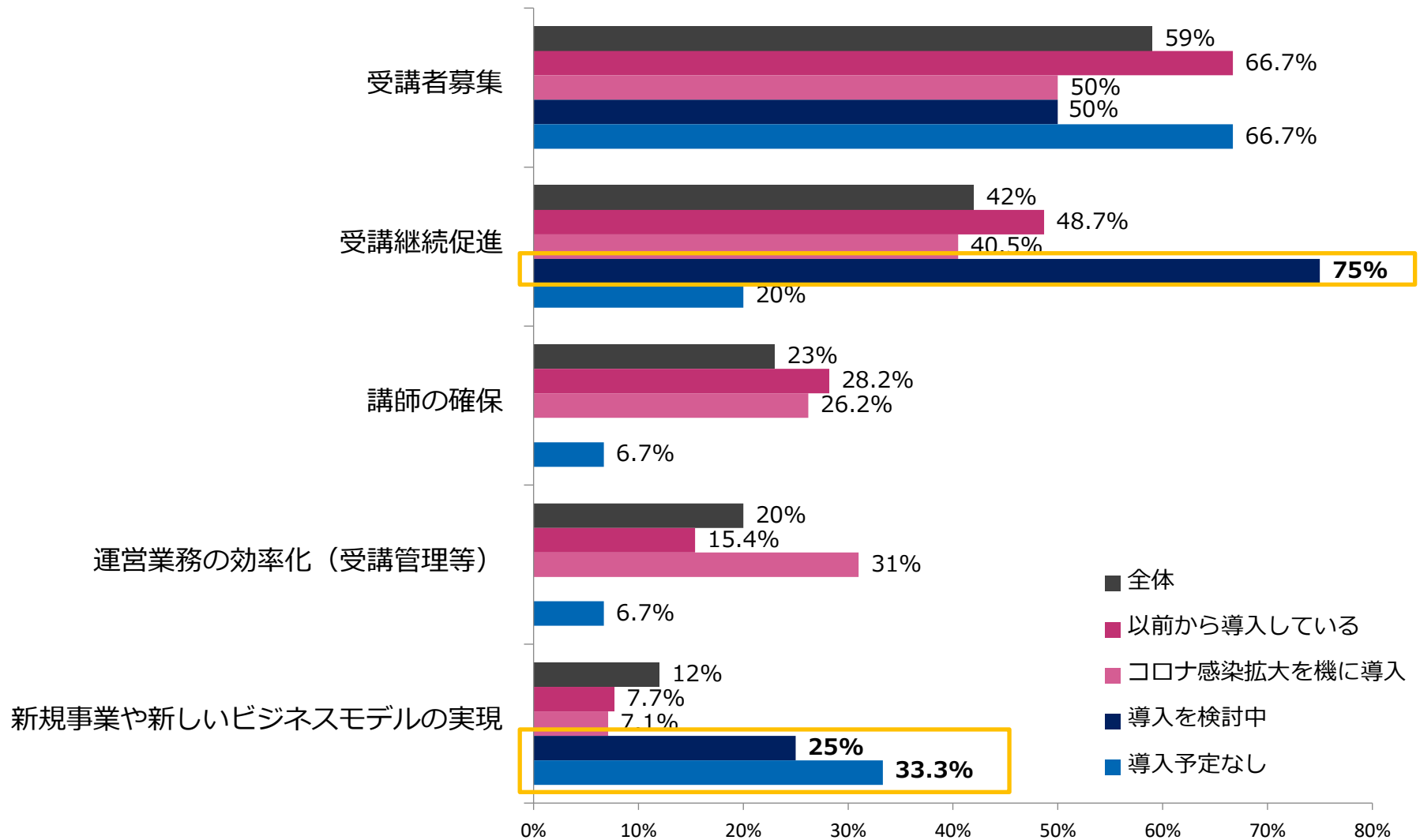
Q：オンライン授業の導入を考えていない方にお聞きます。その理由は何ですか。当てはまるものをすべてお答えください。（n=15）

13. スクール運営上の課題



Q：スクール運営上の最大の課題は何ですか。2つ選択してください。（n=100）

13-1. スクール運営上の課題 × オンライン授業の導入状況



Q：スクール運営上の最大の課題は何ですか。2つ選択してください。（n=100）

5. 調査データ

～スクールジャンル別 クロス表～

1. オンライン授業の実施状況

		全 体	実施 している	実施 していない
全 体		100 100.0	81 81.0	19 19.0
スクール カテゴリ	資格スクール	37 100.0	32 86.5	5 13.5
	語学スクール	33 100.0	24 72.7	9 27.3
	IT系スクール	23 100.0	18 78.3	5 21.7
	別カテゴリ系スクール	7 100.0	7 100.0	- -

Q：あなたの所属するスクールではオンライン授業やオンラインレッスン（eラーニング）を実施していますか。（n=100）

2. オンライン授業の導入時期

		全 体	以前から 導入している	コロナ感染拡大 を機に導入	導入を 検討中	導入予定 なし
全 体		100 100.0	39 39.0	42 42.0	4 4.0	15 15.0
スクール カテゴリ	資格スクール	37 100.0	20 54.1	12 32.4	2 5.4	3 8.1
	語学スクール	33 100.0	10 30.3	14 42.4	1 3.0	8 24.2
	IT系スクール	23 100.0	6 26.1	12 52.2	1 4.3	4 17.4
	別カテゴリ系スクール	7 100.0	3 42.9	4 57.1	- -	- -

Q：オンライン授業の導入時期や導入検討状況について教えてください。（n=100）

3. オンライン授業の適用範囲

		全 体	すべてのコース をオンライン化	一部のコースを オンライン化	対面授業と オンライン授業 のハイブリッド	スポット活用 (*1)	従来のコースと は別にオンライ ンのみで完結す るコースを開講
全 体		81 100.0	32 39.5	32 39.5	26 32.1	16 19.8	9 11.1
スクール カテゴリ	資格スクール	32 100.0	17 53.1	10 31.3	7 21.9	6 18.8	3 9.4
	語学スクール	24 100.0	7 29.2	11 45.8	8 33.3	2 8.3	4 16.7
	IT系スクール	18 100.0	6 33.3	9 50.0	9 50.0	5 27.8	2 11.1
	刈E行いぐ系スクール	7 100.0	2 28.6	2 28.6	2 28.6	3 42.9	- -

*1 基本は対面授業だが欠席時などに補助的にオンライン授業を活用

Q: オンライン授業を実施している方にお聞きします。どのような形でオンライン授業を提供していますか。当てはまるものをすべてお答えください。(n=81)

4. オンライン授業の形式

		全 体	ライブ配信型の 映像授業	録画配信型の 映像授業 (オンデマ ンド)	オンラインでの 講師による マンツーマン指 導	演習問題・ テスト配信 (自習形式)
全 体		81 100.0	60 74.1	38 46.9	33 40.7	18 22.2
スクール カテゴリ	資格スクール	32 100.0	27 84.4	16 50.0	9 28.1	7 21.9
	語学スクール	24 100.0	14 58.3	6 25.0	12 50.0	4 16.7
	IT系スクール	18 100.0	12 66.7	13 72.2	9 50.0	7 38.9
	クリエイティブ系スクール	7 100.0	7 100.0	3 42.9	3 42.9	- -

Q：提供しているオンライン授業の形式はどのようなものですか。当てはまるものをすべてお答えください。（n=81）

5. 導入したシステム・サービス

		全 体	Web会議 ツール (Zoomなど)	学習管理 システム (LMSなど)	オンライン 教材サービス・ アプリ
全 体		81 100.0	64 79.0	37 45.7	27 33.3
スクール カテゴリ	資格スクール	32 100.0	26 81.3	16 50.0	7 21.9
	語学スクール	24 100.0	19 79.2	9 37.5	8 33.3
	IT系スクール	18 100.0	13 72.2	10 55.6	11 61.1
	別カテゴリ系スクール	7 100.0	6 85.7	2 28.6	1 14.3

Q：オンライン授業を提供するために導入されたシステムやサービスはありますか。当てはまるものをすべてお答えください。（n=81）

6. オンライン授業で使用している教材

		全 体	オリジナルの 教材（内製）	オリジナルの 教材（外注）	システムに搭載 されている教材 （システムとの 一体型）	アプリや オンライン サービスの教材
全 体		81 100.0	61 75.3	31 38.3	25 30.9	10 12.3
スクール カテゴリ	資格スクール	32 100.0	25 78.1	10 31.3	10 31.3	3 9.4
	語学スクール	24 100.0	17 70.8	6 25.0	7 29.2	3 12.5
	IT系スクール	18 100.0	13 72.2	13 72.2	6 33.3	3 16.7
	クリエイティブ系スクール	7 100.0	6 85.7	2 28.6	2 28.6	1 14.3

Q：オンライン授業で使用している教材の作成元はどれに該当しますか。当てはまるものをすべてお答えください。（n=81）

7. オンライン授業の効果

		全 体	コロナ禍でも スクール事業 を継続できた	受講者が自宅 で安心安全に 授業を受けら れる環境を提 供できた	解約者減少/ 解約を最小限 に抑えること ができた	より多くの 受講者への 一斉指導が可 能となった	新しい 受講者の獲得 につながった	複数のクラ ス・教室運営 の標準化に つながった	体験授業や 説明会を オンラインで 実施できる ようになった	特になし
全 体		81 100.0	58 71.6	49 60.5	22 27.2	17 21.0	12 14.8	10 12.3	7 8.6	2 2.5
スクール カテゴリ	資格スクール	32 100.0	26 81.3	20 62.5	10 31.3	8 25.0	3 9.4	4 12.5	2 6.3	1 3.1
	語学スクール	24 100.0	14 58.3	14 58.3	2 8.3	3 12.5	5 20.8	- -	2 8.3	- -
	IT系スクール	18 100.0	13 72.2	12 66.7	8 44.4	5 27.8	2 11.1	6 33.3	2 11.1	- -
	クリエイティブ系スクール	7 100.0	5 71.4	3 42.9	2 28.6	1 14.3	2 28.6	- -	1 14.3	1 14.3

Q：オンライン授業にはどんな効果やメリットがありましたか。当てはまるものをすべてお答えください。（n=81）

8. コロナ禍におけるスクール運営・顧客ニーズの変化

▼オンライン希望者・受講者の増加（21%）

コロナ禍におけるスクール運営や顧客ニーズの変化	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
オンライン希望者が増えた	資格スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
オンラインの良さを知ってもらえた	資格スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
オンライン希望者の増加	資格スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
オンラインとオフラインのハイブリッド化	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
人数が増えた	語学スクール	50名以下	以前から導入している
オンラインを希望する人が増えた	語学スクール	51～100名	以前から導入している
オンラインでの学習希望が高まりました	語学スクール	501名～1000名	以前から導入している
収益が伸びた	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
顧客が増えた	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
オンラインを前面に押し出した	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
オンライン需要の高まり	IT系スクール	101～500名	以前から導入している
実習も仮想化でオンラインでできるように要望がある	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
新規顧客獲得ができた	IT系スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
遠方からの問い合わせが少しありました。	別IT系スクール	50名以下	以前から導入している
web講義の需要が高まった	別IT系スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入

Q：新型コロナウイルスの感染拡大を機にスクール運営や顧客ニーズに変化はありましたか。（n=100）

8. コロナ禍におけるスクール運営・顧客ニーズの変化

▼受講者減少（16%）

コロナ禍におけるスクール運営や顧客ニーズの変化	スクールのカテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の導入状況
学費が払えなくなり、やめる人が増えた	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
大幅減	資格スクール	51～100名	導入を検討中
希望者が減った	資格スクール	101～500名	導入予定なし
新しい顧客が入会しないこと	語学スクール	50名以下	導入予定なし
海外に行けなくなり外国語の学習意欲がなくなった学生が増えやめる人が多くなった	語学スクール	50名以下	導入予定なし
学生が減った。	語学スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
生徒の減少	語学スクール	50名以下	導入を検討中
初期に、新規生徒が入らなかった	語学スクール	101～500名	導入予定なし
新規入学者数が減少した	語学スクール	1001名以上	導入予定なし
経営が厳しくなった	語学スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
利用する人が減ったこと	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
規模を縮小した	IT系スクール	501名～1000名	導入予定なし

▼感染対策の必要性（4%）

コロナ禍におけるスクール運営や顧客ニーズの変化	スクールのカテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の導入状況
感染対策	資格スクール	51～100名	以前から導入している
安全を最優先しなければならなくなった 手洗い、消毒、換気、オンライン授業などを実施していても不安があると言われる	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
具体的な安心安全の対策の必要度が上がった。	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入

Q：新型コロナウイルスの感染拡大を機にスクール運営や顧客ニーズに変化はありましたか。（n=100）

8. コロナ禍におけるスクール運営・顧客ニーズの変化

▼その他（8%）

コロナ禍におけるスクール運営や顧客ニーズの変化	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
コロナ禍を利用として在宅学習にて課題をやらせて一斉授業を減らしている。運営的には学生の激減により教員の需要が減っている。今後クビになる教員が激増しそう。	資格スクール	1001名以上	導入を検討中
経営側ではないので、わかりません。	語学スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
多様化した	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
あった	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
働き方が大幅に変わった。残業が少なくなった。	クリエイティブ系スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入

▼特になし（51%）

Q：新型コロナウイルスの感染拡大を機にスクール運営や顧客ニーズに変化はありましたか。（n=100）

9. オンライン授業で大変だったこと

▼通信・音声トラブル（26%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
通信が不安定だったこと	資格スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
オンライン環境が整っていないと快適に受けることができない	資格スクール	101～500名	以前から導入している
通信が途切れることがある	資格スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
たまにくるタイムラグ	語学スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
通信が不安定でフリーズしたりする事	語学スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
相互の音声確保	語学スクール	1001名以上	以前から導入している
繋がらない	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
システムが不安定になることがある	IT系スクール	101～500名	以前から導入している
接続の調整ですね。	IT系スクール	501名～1000名	以前から導入している
音質がよくない事、声と音楽の音量差が大きくて言葉が聞こえにくい事	別カテゴリ系スクール	50名以下	以前から導入している

▼細かい指導が難しい・コミュニケーションがとりにくい（14%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
細かいニュアンスや対面でないとわからないポイントを勉強できない	資格スクール	101～500名	以前から導入している
指導の細やかさ	資格スクール	51～100名	以前から導入している
詳しく説明するのが大変で苦労しました	資格スクール	51～100名	以前から導入している
対面に比べて、集団でのコミュニケーションをとるのに苦労しました	語学スクール	501名～1000名	以前から導入している
手元が見れない	語学スクール	50名以下	以前から導入している
生徒のコントロールがしっかりできない	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
個別に疑問など聞けないところ	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
受講生との空気感がわかりにくい。こちらの熱意が伝わりに行かない	IT系スクール	1001名以上	以前から導入している

Q：実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、苦労したことは何でしたか。（n=81）

9. オンライン授業で大変だったこと

▼受講生の反応・理解度がわかりにくい（10%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
相手の理解度がわかりにくい	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
反応が読みにくい	語学スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
表情	語学スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
多人数での授業では参加者の表情やつぶやきが捉えにくく授業展開が難しい傾向があった。	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
生徒に理解されているのか不安になる講師がおおかった	IT系スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入

▼操作の慣れ（9%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
受講者・講師とも操作に不慣れで戸惑いがあった	資格スクール	101～500名	以前から導入している
操作に慣れるまで大変でした。	語学スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
相手の通信環境に対してその扱い方等の説明に時間がかかる。こちらもそのプロではないし。。	語学スクール	50名以下	以前から導入している
練習が必要	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
生徒に使い方を指導すること。	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入

Q：実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、苦労したことは何でしたか。（n=81）

9. オンライン授業で大変だったこと

▼教材・カリキュラムの準備（6%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
教材準備	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
オンラインに向けたテキストの作成。システムに慣れる。	刈E行イブ系スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
教材の準備	刈E行イブ系スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
オンライン用にカリキュラムを作り直したこと	刈E行イブ系スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入

▼設備導入（6%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
オンラインの機材導入費用が高い	資格スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
機器をそろえること	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
設備	資格スクール	51～100名	以前から導入している
セットアップ	語学スクール	501名～1000名	以前から導入している

▼集中力不足（2%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
集中力	語学スクール	1001名以上	以前から導入している
初めは新鮮だからかちゃんと受講していたが授業に集中しない学生が増えた	語学スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入

Q：実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、苦労したことは何でしたか。（n=81）

9. オンライン授業で大変だったこと

▼その他（7%）

大変だったこと	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
なかなか予定通りにできていない	資格スクール	50名以下	以前から導入している
わかりやすいシステム開発デザイン大変魅力満載便利	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
時間になってもそろわないこと	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
講師は出勤せざるを得なかった	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
セキュリティの確保	IT系スクール	101～500名	以前から導入している
実習中心の科目なので、実習した物の点検が大変だった。	刈Iティブ系スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入

▼特になし（20%）

Q：実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、苦労したことは何でしたか。（n=81）

10. オンライン授業に求める機能・サービス

		全 体	授業動画の作成・配信が簡単ができる	ライブ配信した映像をオンデマンド化して欠席者等に再配信できる	教材にペンツールで書き込みをするなど臨場感あるライブ配信ができる	受講者からチャットで質問ができるなど双方向性のあるライブ配信ができる	受講者一人ひとりの学習状況や理解度を把握・分析できる	オンライン・対面授業の受講データ、成績などを一元管理できる	講師側で教材やホワイトボードの映像共有ができる	受講者がマイページで自らの学習状況や到達度を確認できる	スマホ・タブレット・PCなど端末をまたいで学習できる	テストで間違った項目に紐づいた教材が自動配信される	教材がどのように学習目標到達に寄与したかを分析できる	コース設定・教材設計などを自由にカスタマイズできるシステム	顧客管理システムなど他システムとの連携	特になし
全 体		81 100.0	44 54.3	31 38.3	28 34.6	25 30.9	20 24.7	18 22.2	17 21.0	14 17.3	14 17.3	11 13.6	10 12.3	8 9.9	8 9.9	5 6.2
スクール カテゴリ	資格スクール	32 100.0	20 62.5	16 50.0	10 31.3	9 28.1	10 31.3	6 18.8	8 25.0	4 12.5	5 15.6	5 15.6	4 12.5	1 3.1	3 9.4	1 3.1
	語学スクール	24 100.0	12 50.0	4 16.7	8 33.3	4 16.7	1 4.2	4 16.7	5 20.8	2 8.3	3 12.5	2 8.3	1 4.2	2 8.3	-	3 12.5
	IT系スクール	18 100.0	7 38.9	8 44.4	6 33.3	10 55.6	9 50.0	7 38.9	3 16.7	7 38.9	5 27.8	4 22.2	5 27.8	5 27.8	5 27.8	1 5.6
	カレッジ系スクール	7 100.0	5 71.4	3 42.9	4 57.1	2 28.6	-	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	-	-	-	-

Q：今後もオンライン授業を提供していく上でどんな機能やサービスがあれば便利だと思いますか。当てはまるものをすべてお答えください。（n=81）

1.1. 今後の取り組み

▼オンライン授業を継続・拡大（24%）

今後の取り組み・ご意見	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
今後も継続	資格スクール	50名以下	以前から導入している
オンラインのほうが安全なので増やしていきたいと思います	資格スクール	51～100名	以前から導入している
引き続き拡大していきたい	資格スクール	101～500名	以前から導入している
今後はオンラインに力を入れて首都圏に住む方だけではなく遠方の顧客も取り込みたい	資格スクール	101～500名	以前から導入している
遠隔地に指導することができるようになる。	資格スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
展開拡大予定	語学スクール	501名～1000名	以前から導入している
新しい学習ツールとしてよいことだと思います	語学スクール	501名～1000名	以前から導入している
今後も続けていきたい	語学スクール	101～500名	以前から導入している
慣れてきたので効率的に出来ると感じています。	IT系スクール	51～100名	以前から導入している
拡大する	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
現状維持	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
オンラインを強化していきたい	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入

▼双方向のわかりやすいオンライン授業（8%）

今後の取り組み・ご意見	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
一方的にならないようにするための取り組み	資格スクール	51～100名	以前から導入している
分かりやすい授業	資格スクール	501名～1000名	以前から導入している
双方向でのオンライン授業を円滑に運営するためのルール作り。	資格スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
モチベーションを上げる	語学スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
分かりやすい画面構成が難しいです。	IT系スクール	501名～1000名	以前から導入している

Q：オンライン授業を導入している方、導入検討中の方にお聞きします。オンライン授業に関するご意見、今後の取り組み予定をお聞かせください。（n=85）

1.1. 今後の取り組み

▼カリキュラム・プログラムの再構築（8%）

今後の取り組み・ご意見	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
しっかりとカリキュラムができること	資格スクール	50名以下	以前から導入している
プログラムそのものをリバイスする必要がある。	資格スクール	51～100名	今後の導入を検討中
質の良いものを作りたい	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
オンラインで行って効果がある内容と、対面の方が効果的な内容をデータをもとに精度を上げて分析し、今後のプログラム構成に活かしたい。	IT系スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入

▼対面授業とのハイブリッド（4%）

今後の取り組み・ご意見	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
今後は対面授業が中心になるが、オンラインも一部利用していきたい	資格スクール	1001名以上	以前から導入している
今後もオンラインと通学のハイブリッドが続くと思うが学習者のニーズに答えていきたい	語学スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
対面が主流ではあるが、オンラインならではのメリットもあるので、そういった部分は取り入れていきたい	IT系スクール	1001名以上	以前から導入している

▼より良い通信環境・機材の導入（4%）

今後の取り組み・ご意見	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
高画質で安定した通信環境で受講したい	資格スクール	101～500名	コロナ感染拡大を機に導入
価格が手ごろで高度な映像配信の出来る機材が普及すると有り難い	刈イイイ [®] 系スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入
電波状態の安定を確保する。	刈イイイ [®] 系スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入

Q：オンライン授業を導入している方、導入検討中の方にお聞きします。オンライン授業に関するご意見、今後の取り組み予定をお聞かせください。（n=85）

1.1. 今後の取り組み

▼オンライン授業をやめる（12%）

今後の取り組み・ご意見	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
語学学習などはきちりとした目標・ゴールがある人はまれで多くの人は通うのが楽しい、社交の場という目的が多いのでオンラインは一時しのぎととらえてる場合が多い	語学スクール	50名以下	以前から導入している
出来るのであればオンライン授業を辞めたい 対面のほうが教えやすい	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
コロナ感染終息次第、一切止めたい。	語学スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入
できれば辞めたい	語学スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
コロナが落ち着いたらなくしていく	語学スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
もうやりたくない	IT系スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
なるべくオンラインはやめる方向	刈刈イイイイ系スクール	1001名以上	コロナ感染拡大を機に導入
通勤、通学時間が無くなり時間の有効活用が出来たが、対面授業の方が理解度がお互いにわかりやすいと思う	刈刈イイイイ系スクール	50名以下	コロナ感染拡大を機に導入

▼その他（7%）

今後の取り組み・ご意見	スクールの カテゴリ	スクールの規模 (総受講者数)	オンライン授業の 導入状況
コロナ禍で学生が減るため、コストダウンのために教員も減らしてその穴埋めにオンライン授業を考えているが、動機が不純でありまた無理やり導入しようとしていて教科の内容にマッチしていない。	資格スクール	1001名以上	今後の導入を検討中
負担軽減	語学スクール	50名以下	以前から導入している
練習	語学スクール	51～100名	コロナ感染拡大を機に導入
標準化や競争が激しくなると思われる	IT系スクール	501名～1000名	コロナ感染拡大を機に導入

▼特になし（33%）

Q：オンライン授業を導入している方、導入検討中の方にお聞きします。オンライン授業に関するご意見、今後の取り組み予定をお聞かせください。（n=85）

12. オンライン授業の導入を考えていない理由

		全 体	授業内容がオンラインに適さない	オンライン授業のニーズがない	オンライン授業に必要な設備環境が整っていない	オンライン授業のはじめ方や必要なツールの選び方がわからない	受講者側にオンライン授業に対応できる環境が整っていない	オンライン授業に特化した指導ノウハウがない
全 体		15 100.0	7 46.7	6 40.0	5 33.3	3 20.0	2 13.3	2 13.3
スクール カテゴリ	資格スクール	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3	- -	- -
	語学スクール	8 100.0	5 62.5	5 62.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0
	IT系スクール	4 100.0	1 25.0	- -	2 50.0	1 25.0	1 25.0	- -
	別カテゴリ系スクール	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

Q：オンライン授業の導入を考えていない方にお聞きします。その理由は何ですか。当てはまるものをすべてお答えください。（n=15）

13. スクール運営上の課題

		全 体	受講者募集	受講継続促進	講師の確保	運営業務の効率化（受講管理等）	新規事業や新しいビジネスモデルの実現	その他
全 体		100 100.0	59 59.0	42 42.0	23 23.0	20 20.0	12 12.0	1 1.0
スクール カテゴリ	資格スクール	37 100.0	28 75.7	17 45.9	9 24.3	5 13.5	3 8.1	- -
	語学スクール	33 100.0	20 60.6	14 42.4	6 18.2	9 27.3	2 6.1	- -
	IT系スクール	23 100.0	8 34.8	9 39.1	7 30.4	4 17.4	6 26.1	1 4.3
	クリエイティブ系スクール	7 100.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3	- -

Q：スクール運営上の最大の課題は何ですか。2つ選択してください。（n=100）

コロナ禍における学校のオンライン授業に関する調査報告書

デジタル・ナレッジ 調査

検索

2022年3月発行

発行：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>